

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果(八基小学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	算数
八基小	72	75
埼玉県(公立)	65	69
全国(公立)	64.7	70.2

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	八基小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	93.8	95.5	94.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	93.8	83.2	81.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.8	91.4	90.4
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	37.5	13.9	14.8
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	93.8	76.1	74.0
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	100	81.6	78.3
	5年生までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	93.8	81.9	78.2
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	87.5	65.0	62.5
教科への関心	国語の勉強は好きだ	93.8	57.9	58.4
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	91.6	91.8
	算数の勉強は好きだ	81.3	66.8	67.8
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	100	92.4	92.6
その他	自分には、よいところがあると思う	100	78.0	76.9
	将来の夢や目標をもっている	93.8	81.4	80.3
	人の役に立つ人間になりたいと思う	100	94.9	95.5
	今住んでいる地域の行事に参加している	75	57.1	58.1

八基小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 文の中で、正しく漢字を使うことができている。出題された問題は、県と全国の平均を14%～20パーセント上回っている。漢字の適切な使い方を理解していることがわかる。
- 文中における主語と述語の関係を的確に捉えており、全国平均より20%近く上回っている。
- 文章全体の内容を把握した読み取りができ、全国と県の平均を20%以上、上回っている。
- 資料を活用して、考えが伝わるように話す問題では、全国と県の平均を12%以上、上回っている。効果的に伝える方法が身に付いている。
- 文章を読み取った後、必要な情報をまとめて書くことに課題がある。

【算数】

- 棒グラフを正確に読み取っており、正答率は100%である。
- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを使えばよいか、理解している。全国と県の平均を13%上回っており、統計的な考え方を身に付けている。
- 基準量を1としたときにいくつにあたるかについて、理由を記述できている。県平均より18%上回っており、基にする数と比較量を正しく捉えている。
- 面積を求める式が定着していないところに課題がある。
- 速さと道のりを基に時間をもとめることについて、数量関係の把握に課題がある。

【質問紙】

- 「自分にはよいところがある」と考える児童が100%であり、自己肯定感が高い。
- 「人の役に立ちたい」と思う児童が100%であり、社会貢献したいという意識が高い。
- 就寝時間と起床時間が決まっている児童が多く、規則正しい生活ができている。
- 地域の行事に参加している児童が多く、地域と結びついた教育に役立っている。
- 以上のことから、非認知能力の育成が、学力に結びついていると考えられる
- 朝食を毎日食べてくる児童の割合が、県や全国よりやや低い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・文章を読み、ズバリどんな題名がよいか考えさせる。
- ・文章の中で大切なところにサイドラインを引かせ、要約の練習を積み重ねていく。
- ・上記2つについて、なぜそう考えたのか話し合いをさせる。

【算数】

- ・面積の問題に関しては、なぜそのような式になるのか、改めて考えさせる。
- ・「道のり」「速さ」「時間」をはじめとする様々な問題について、公式を覚えさせるだけでなく、考えることを重視した授業を継続していく。
- ・友達と協働する学習を多く取り入れ、多面的な見方や考え方を共有させていく。
- ・答えが明らかに異なる数値のときには気付けるよう、答えの見当をつける習慣を定着させる。
- ・算数コーナーを活用し、既習学習をくり返し行わせて確実に身に付けられるようにする。

【その他】

- ・保健指導や家庭科の授業をとおして、「朝ごはん」の大切さを児童に伝えるとともに、学校からのたより等で、保護者にも理解を求める。
- ・総合的な学習の時間を軸に、引き続き探究的な学習を進め、児童一人一人が課題を追究していく力を高めていく。